

2. 調査・解析結果

検討項目

2.2 処分場周辺の地形・地質概要

要 点

備 考

表-2.2.1 調査地周辺の地質構成 (図-2.2.1の凡例)

新生代 第四紀	b	砂 Sand	中生代 ジュラ紀	Ds	砂岩(頁岩クレストを含む)及び砂岩頁岩互層 Sandstone (including shale clesta), and interbedded sandstone and shale
	a	礫、砂及びシルト-粘土 Gravel, sand and silt-clay		Om	成層頁岩、一部に混在岩を伴う Bedded shale, with mixed rock
	f	礫及び砂 Gravel and sand		Oc	チャート、酸性凝灰岩・珪質泥岩を伴う Chert with acidic tuff and siliceous shale
	ti	礫、砂及びシルト Gravel, sand and silt		Og	緑色岩(玄武岩溶岩及び玄武岩火砕岩) Greenstone (basalt lava and basalt volcanoclastic rocks)
	tm	礫(砂を挟む) Gravel with sand		Ka	混在岩(砂岩・チャート・緑色岩の岩塊を含む頁岩) Mixed rock (shale including blocks of sandstone, chert and greenstone)
	th	礫(シルト-粘土及び砂を挟む) Gravel with silt-clay and sand		Ks	砂岩及び砂岩頁岩互層 Sandstone, and interbedded sandstone and shale
				Km	成層頁岩 Bedded shale
				Kc	チャート、珪質頁岩を伴う Chert with siliceous shale
				Kl	石灰岩 Limestone

15万分の1地質図幅「敦賀」(国土地理院、1999)

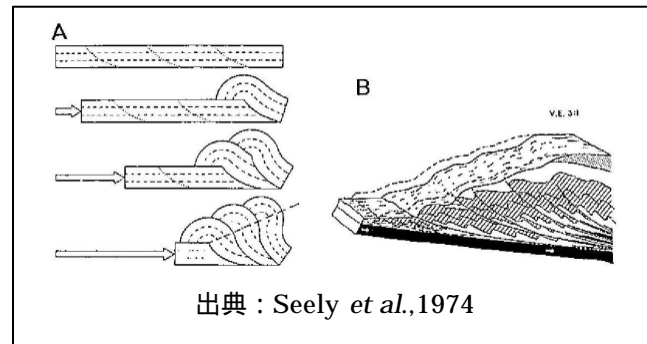


図-2.2.3 付加帯形成モデル

表-2.2.2 処分場周辺の地質構成 (図-2.2.2の凡例)

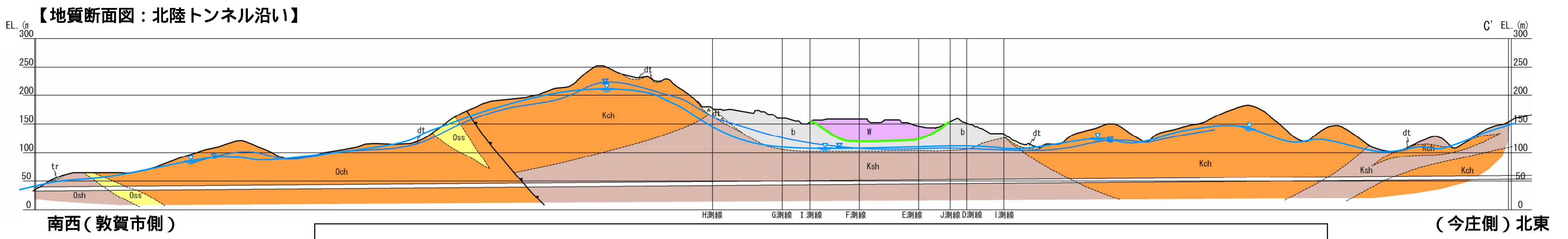
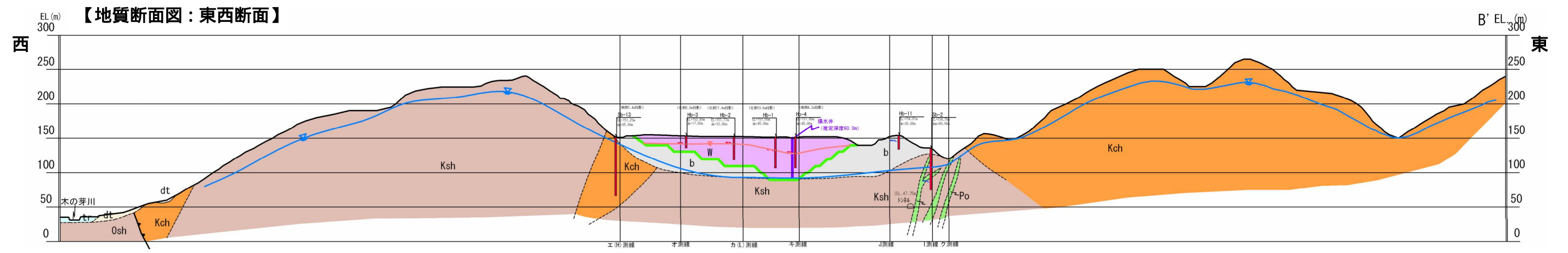
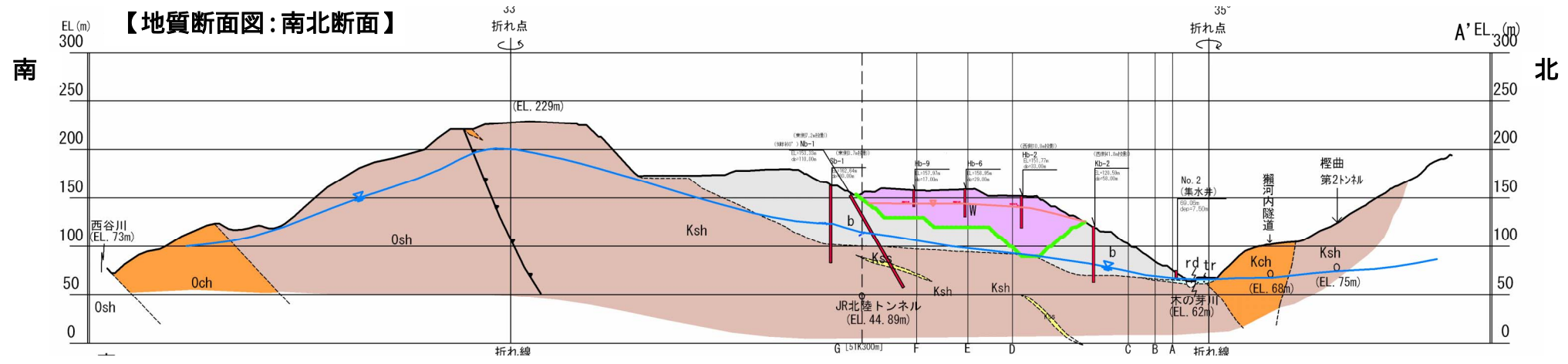
地質時代	地質名	層相 岩相	地質記号	記 事
新生代 第四紀 完新世	盛土	礫, 砂, 粘性土	b	路盤材, 処分場の盛土(覆土)など掘削による発生土を主体とする。
	廃棄物	汚泥, シュレッタダグダスト, 一般廃棄物など	w	最終処分場に投棄された廃棄物および覆土などの土砂からなる。
	現河床堆積物	礫および砂	rd	木の芽川沿いに分布する。直径0.1~1.5mの硬質な亜角~亜円礫を主体とし、細粒分に乏しい。
	崖堆積物	礫および砂質土~粘性土	dt	処分場周辺の谷沿い、斜面裾部に分布する。風化岩片を主体とした礫および土砂からなる。
	段丘堆積物	礫および砂	tr	木の芽川沿いの平坦地に分布する。現河床堆積物とは、護岸により画される。
	新生代 古第三紀	岩脈	石英閃緑岩	Gd
中生代 白亜紀	岩脈	ひん岩	Po	処分場周辺に分布する。緑灰色の細粒・緻密な基質中に、1mm前後の長石、角閃石斑晶を伴う。
中生代 ジュラ紀	尾羽梨コンプレックス	頁岩(珪質~砂質頁岩を伴う)	Osh	処分場南側の広範囲に分布する。優黑色の質分が主体をなすが、薄層ないしはレンズ状をなして、砂分や凝灰質~珪質分を不規則に伴う。
		砂岩, 泥質砂岩	Oss	処分場の南側; 主に西谷川沿いに分布する。暗灰~灰色を呈する泥質~中粒砂岩からなる。
		チャート	Och	処分場南西~南側の西谷川沿いに分布。塊状ないしは層状をなし、連続性に富む。灰白~黒灰色を呈し、まれに泥質分を挟在する。
	檜曲コンプレックス	頁岩(珪質~砂質頁岩を伴う)	Ksh	処分場およびその周辺に分布する。優黑色の質分が主体をなすが、薄層ないしはレンズ状をなして、砂分や凝灰質~珪質分を不規則に伴う。
		砂岩, 泥質砂岩	Kss	頁岩中にレンズ~薄層をなして不規則に混在し、連続性に乏しい。岩相の変化に富み、頁岩との境界は漸移的であることが多い。
		チャート	Kch	処分場西側の切土のり面、周辺道路など広範囲に、塊状~レンズ状をなして分布する。灰白色を呈し、泥質分を伴う。

地質名称は5万分の1地質図幅「敦賀」をもとに、一部区分を追加

表-2.2.1 調査地周辺の地質構成

表-2.2.2 処分場周辺の地質構成

図-2.2.3 付加帯形成モデル



処分場および周辺の地質は、頁岩 (Ksh) を主体とし、その東側および西側にはチャートが分布する。

処分場下には、盛土 (b) が分布する。その下位の地質は頁岩を主体とし、砂岩、チャートがレンズ状ないしは薄層をなして挟在する。


周辺の地下水位 (青線  にて表示) は、周辺の沢における湧水状況などから、処分場上面 (標高 160m 付近) に対し、稜線部 (標高 250m) 付近まで高まっている。

図-2.2.4 処分場周辺の広域地質断面図